

最近物忘れが気になるけれど 新しい薬で治療できるのかし ら？



軽度認知機能障害に対する新しい薬（レカネマブ）が使えるようになりました。当センターでは、患者様やご家族の方からのご要望に応じ、この薬の対象になるかどうか診断をし、その先の検査や治療につなげます。

新しい薬(レカネマブ:レケンビ[®])で治療できるのかしら？

・ 認知機能検査外来についてのお知らせ

- ・ これまで当センターの認知機能検査外来では、かかりつけ医の先生からご紹介いただいた患者様に認知機能の検査を行い、結果をご報告していました。
- ・ **先般、軽度認知機能障害に対する新しい薬(レカネマブ:レケンビ[®])が使えるようになりしました。認知機能検査外来ではかかりつけ医を通さなくても、患者様やご家族の方からのご要望に応じ、この薬の対象になるかどうか診断をし、その先の検査や治療につなげます。**
- ・ **ご関心があれば、遠慮なく当センターの地域連携患者支援室にご相談ください。詳しくは次からのページをご覧ください。**

電話:018-833-0115

ファクス:018-833-0268

Eメール:byousin@akita-noken.jp



はじめに

- **全く新しいタイプのアルツハイマー病治療薬であるレケンビ®の製造販売が承認され、令和5年12月20日に発売されました。**
- **レケンビ®の投与対象はアルツハイマー病による軽度認知障害または軽度の認知症に限定されています。効果については別に説明します。**
- **初診時の診察とその後の全ての精密検査の結果を総合的に検討し、レケンビ®の投与の対象に該当するか否かを判断させていただきます。**
- **治療適用があると判定され、投与を希望された方への投与は、初回のみ1泊入院していただき、点滴注射を行います(副反応の発現を注意深く観察するためです)。2回目以後は日帰りで、2週毎に点滴注射を行います。**
- **投与開始後は脳の腫れや出血などの副反応が生じる可能性があるため、定期的な脳MRI検査が必要です。**

受診から治療開始までの流れ

- 当センターの地域連携患者支援室の認知機能検査外来の受診予約をしていただきます。
- 初診時の診察およびその後の検査(通常、神経心理学的検査、脳MRI、脳血流シンチグラフィ等を1日あるいは数日に分けて実施します)
- レケンビ®による治療の対象と判断された場合、検査結果の説明の後、「アミロイドβの蓄積を調べる検査」を予約し、実施します。
 - レケンビ®の投与対象は臨床診断に加えて、検査結果においても厳格に規定されています。特に重要なのが脳へのアミロイドβの蓄積が認められることです。アミロイドβの蓄積を証明する検査としては、アミロイドPETという核医学検査と、髄液検査がありますが、当院では侵襲の低いアミロイドPETを行っております。
- この検査の結果、適応があると判断され、治療に同意いただければレケンビ®の投与を開始します。

認知機能検査外来でまずかかる費用

- **認知機能検査外来での診療内容**

- 初診料、血液検査、その他

- 認知機能検査

- MRI

- 脳血流検査(SPECT)

- 費用は合計で1-3万円(負担割合によります)

- **これらの検査の結果、対象外と判定されることがあります。その場合は通常の診療を提供させていただくか、適当な医療機関に紹介し、診療を継続していただきます。**
- **もの忘れの原因がアルツハイマー病ではない場合、原因がアルツハイマー病であっても認知症の程度が中等度以上の場合、脳MRIにおいて治療による副作用のリスクが高い特有の所見を認めた場合、などは対象外と判定されます。**

アミロイドPETにかかる費用

【PET-CTの場合】

2024年6月1日診療報酬改定後（デリバリー医薬品を使用）

診療報酬 3,725点（撮影等に係る技術料）

薬剤料 196,481円（ビザミルの場合）又は 184,203円（アミヴィットの場合）

合計費用 233,731円（ビザミルの場合）又は 221,453円（アミヴィットの場合）

2割負担 46,746円（ビザミルの場合）又は 44,291円（アミヴィットの場合）

***当センターではビザミルを使用して検査をしています。**

レケンビ[®]による治療の費用

体重	1回あたりの使用薬剤	1か月(2回分)の患者負担額 ^{注1}	高額療養費上限額 ^{注2}
50kg	500mg×1瓶	1割:22,888円 2割:45,777円 3割:68,665円	1割:18,000円 2割:18,000円 3割:適用無し
60kg	200mg×3瓶	1割:27,466円 2割:54,932円 3割:82,988円	1割:18,000円 2割:18,000円 3割:80,176円

注1:上記概算は薬剤のみ(診察や検査等を除く)の費用で患者負担額を示したものです。

注2:対象者の診療行為や所得によって負担上限額が変わりますのでご注意ください。

本剤は認知機能の悪化を有意に抑制することが示された(27.1%抑制)

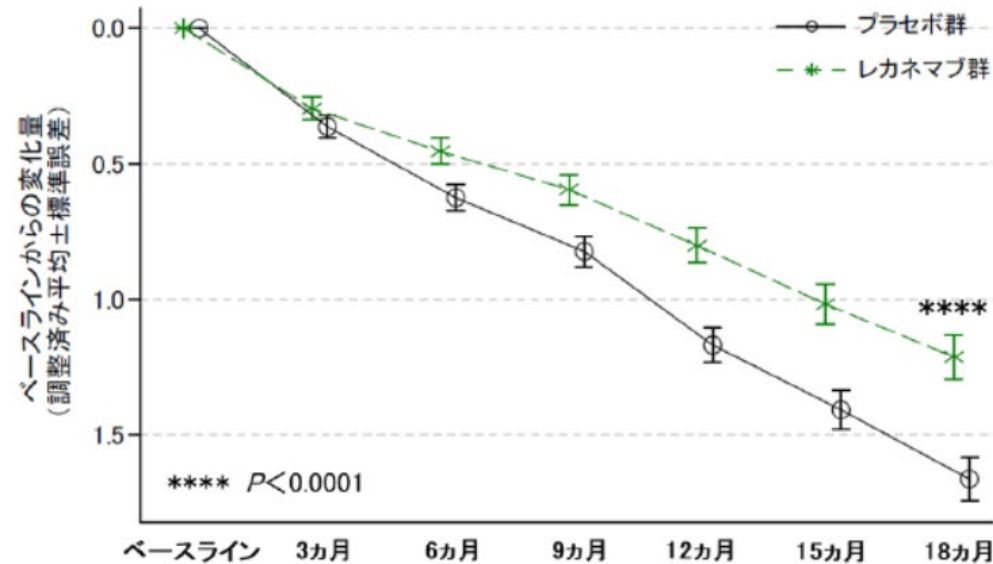


図 1: CDR-SB のベースラインからの変化量 (FAS+, MMRM、調整済み平均)

CDR-SB = Clinical Dementia Rating-Sum of Boxes、FAS = full analysis set、MMRM = mixed model for repeated measures.

最適使用推進ガイドライン:レカネマブ(遺伝子組換え)令和5年12月厚生労働省

患者さん・そのご家族からの治療判断の要望があった場合(当センター外来患者を含む)の流れ
(医療機関からの紹介は別の流れによる)

病診連携で、当センターの認知機能スクリーニング外来(従来の認知機能検査外来の機能を継続)で担当している旨を伝える。
内容を説明し、当センターは必要な検査(心理検査・血液検査・MRI・SPECT)を含めて予約し、受診の上結果判断する

治療適応の可能性あり

鑑別診断のうえ治療適応ではない

アミロイドPETの施行が妥当と判断されたら当センターの医師がアミロイドPETのスケジュールを調整し、PETを実施する

適切な経過観察や他の専門医療機関に紹介するなどの対応を行う

レカネマブPETは週1回
(金曜午後) 1例
アミロイドPETは外来診療で行う

アミロイドPETの結果を判定する

レカネマブ治療の適応あり

レカネマブ治療の適応なし

当センターでレカネマブ治療の同意を取得

当センターでレカネマブ治療を行う
レカネマブ治療は初回は基本的には入院で行う(定期の実施前MRIを含む)。
木・金を想定

* 認知症疾患医療センターとの連携、の条件を満たすため
適宜認知症疾患医療センターと相談できる体制を構築